

「人権週間」

みなさん、おはようございます。12月は、1年の中でも特に忙しくなる時期です。町の様子もあわただしくなり、車を運転する人たちの気持ちにも余裕がなくなりがちです。どうか、交通事故には十分気をつけて生活してください。

さて、12/4から12/10まで「人権週間」です。

はじめに、詩人金子みすゞさんの詩「こだまでしょうか」を読みます。

「こだまでしょうか」 金子みすゞ

「遊ぼう」というと 「遊ぼう」という。

「馬鹿」というと 「馬鹿」という。

「もう遊ばない」というと 「遊ばない」という。

そして、あとで さみしくなって、

「ごめんね」というと 「ごめんね」という。

こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

この詩は、東日本大震災の後、AC ジャパンの CM で使われた詩です。最後にテロップでこう締めくくります。

「やさしく話しかければ、やさしく相手も答えてくれる。」

言葉はこだま。言葉は言霊。

言葉は、もう一人の自分です。

「人権」というたった二文字の意味を正しく理解し、それを日々の行動で示すために  
は、まず自分の使う「言葉」について考えることが大切です。どんな言葉を知り、どん  
な言葉を選ぶかによって、私たちの「考え方」も「人とのかかわり方」も変わっていき  
ます。

最後に東京都民の人権川柳を紹介します。

「その言葉 手で殴るより 痛いかも」

「気づいてる？その笑いにも 痛みあり」

「冗談で 言った言葉が 深い傷」

言葉に関する感性を磨き、すてきな言葉があふれる学校にしていきましょう。